

## 【第2回】タスクフォース活動報告

タスクフォース名：城内診療所在り方タスクフォース

会議開催日時：令和3年2月19日（金）16時00分～17時20分

会場：城内診療所 食堂

参加者：外山副市長、診療所（所長他、看護師・事務職員2人）、市長部局（4人）、事務局（2人）

### 会議の内容

- 城内診療所の運営状況について（診療成績、曜日別受診者数、送迎患者数）
- 市民病院群に組み込んだ場合のメリット、デメリットについて
- 意見交換

### 各委員からのご意見

- 令和3年度当初予算案は、令和2年度の実績を踏まえ、一般会計からの繰出しが相当削減されることが予想されている。したがって、このことを前提とし、令和3年度の運営をまず考える必要があり、昨日も所内全体で話し合いを行った。
- 一日当たりの収益が、会計年度任用職員の一日当たりの人件費を賄っていない状況。送迎は、月平均20%近くの利用率がある。ほとんどが、城内・五十沢地区の方
- 令和3年度の運営については、短期的には、昨日の所内でのまとめで良いと思うが、もう少し中・長期的に考えると、城内診療所も市民病院や大和病院に要請しているような収支計画書を作成したほうがよい。
- 受診者が少ない月曜日を月1回休診日とし効率化を図ることも大切だが、地域にはこういうニーズがあるから、こういう新しいことをするといった試みをまず考えるべきではないか。市民が良くなった、良かったなと思える方向にもっていかないとならない。
- 今度の医療の分野として、ニーズはないのか？城内診療所には空きスペースがある。通所リハビリをやるとか。利益が出やすい手法もある。
- 市民病院群の中に城内診療所を組み込んだ時のメリットとして、医療人材、薬材などを集約できる。
- 市民病院群の中に城内診療所を組み込んだ場合、直接雇用している医事の職員などの身分の問題、雇用をこのまま継続して契約できるのか気になる。  
→直ちに医事の職員を解雇することはない。医事が良くできる病院は、委託せず自前で採用している。医事の委託費である隠れ人件費の割合は大きい。

- 市民病院群の中に城内診療所を組み込んだ場合、大きなスケールメリットがあり、市民病院や大和病院をバックにバラエティーに富んだメニューを提供できるのではないかと。
- それには、市民病院と大和病院と「合同戦略会議」を行い、どんな応援ができるか話し合うことが必要であり、計画したい。
- 女性外来を作るなど、女性だけを診察する診療日があってもよいのではないかと。他の病院、診療所と差別化し、特徴を出すのはどうか。
- 実際、現場（診療所）で働いている医師や看護師の方が、こんなことができるのではないかと？ どういうことをしていきたいのか？ 話を発展させていっていいのか？ そういった意見を投げかけてほしい。
- 城内診療所の特別会計を病院事業会計の中に組み入れられるように、条例を改正してほしい。

#### 今後の課題・対応

- 市民病院、大和病院、城内診療所の3者で「合同戦略会議」を計画・実施する。
- 特別会計から病院事業会計の中に組み入れる条例改正の実施。